



なんぶ

# 議会だより

第37号

平成25年12月議会

発行 平成26年2月1日



『スポnetなんぶ』が  
『しあわせ』の  
指定管理者に!

- 12月定例議会 ..... 2
- 一般会計補正予算 ..... 3
- 一般質問ダイジェスト ..... 4
- 行政調査報告 ..... 10
- 二十歳のこえ ..... 11
- 議会活動日誌 ..... 11
- あとがき ..... 12

# 一般会計補正予算

## 賛成多数で可決

がんばれふるさと寄付金事業、災害普及事業など

### 1154万4000円の増額補正予算で総額72億4718万1000円

#### 主な事業

**がんばれふるさと寄付金事業**・・・569万5000円増額  
寄付件数増加に伴い、お礼特産品報償費ほかの増額（計870万9000円）

（質疑）当初予算より大きな補正だが、その理由は  
（回答）昨年と同様に当初予算を組んでいたが、今年  
は寄付が予想以上に多く、補正をお願いした。

寄付件数等の推移

	件数	金額
平成23年度	459	583万200円
平成24年度	1,010	1,138万3,501円
平成25年度 (10月末)	1,349	1,421万6,000円

**出産育児一時金**・・・336万円増額（計588万円）

出産予定を当初6件見込んでいたが、14件に増える予定出産育児一時金を42万円  
（産科医療保障制度に加入していない医療機関で出産した場合は39万円）

**ふるさと交流センター管理事業**・・・  
130万7000円増額（計714万9000円）

交流センター内クロス、破損箇所修理・・・99万8000円  
ゲートポール場縁石、入口花壇撤去・・・30万9000円  
施設破損の修理と駐車場不足の解消するための工事などにより、施設利用者の利便性をはかる。

**道路橋梁災害復旧事業費**  
510万円増額（計5643万円）

**河川災害復旧費事業費**  
530万円増額（計690万7000円）

いずれも災害査定と実施に必要な測量・設計費の増額

**すみれ保育園新築事業・  
少子化対策事業を含む補正予算**

**全員一致で可決** 予算総額 **5141万9千円**

（1月23日開催）

- 結婚支援事業（少子化対策）……………61万3千円
- 三世同居等支援事業（少子化対策）…100万円
- すみれ保育園設計委託料……………4850万円
- 南部バイパス開通記念式典……………23万6千円
- 消防団退職報償費……………93万1千円
- 起業促進奨励金（少子化対策）……………10万円

#### 討論

**賛成** この度の補正予算の多くは災害復旧に伴う測量・設計費と他事業も緊急性のある予算補正もあり、なんら反対するものではない。

**反対** 各事業についての反対はないが、指定管理に関する債務負担行為があり反対する。

## 第1回臨時議会

# 12月定例議会

12月定例議会は条例制定・一部改正と公の施設の指定管理の指定、一般会計他の補正予算、町道路線の認定・変更について、それぞれ審議しました。  
いずれの案件も可決されました。主な条例、指定管理の指定など案件を報告します。

**南部町子ども・子育て会議条例の制定** **全員一致で可決**

子ども・子育て支援法が公布され、南部町においても子ども・子育て支援に関する施策を総合的・計画的に行うため「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられた。  
この計画策定にあたって「子ども・子育て会議」を設置し、町民多くの意見を聞く目的で、合議制の機関が設置されます。



今年七月に予定されている農業委員会選挙から施行されます。

**南部町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正** **賛成多数で可決**

南部町合併時における協定の懸案であった、選挙区及び委員定数が変更されます。  
第1選挙区10名、第2選挙区8名、計2選挙区18名を1選挙区にし、定数は15名となります。

（反対）今後の農業問題を考えると、定数の削減は賛成できない。  
（賛成）合併時の懸案事項で、農業委員も充分協議後の提案である。

**公の施設（南部町総合福祉センター「しあわせ」）の指定管理者の指定** **意見を付し** **全員一致で可決**

「南部町社会福祉協議会」より指定管理辞退の申し出により、「特定非営利法人南部町総合型地域スポーツクラブ」が総合福祉センター「しあわせ」を指定管理者に指定されました。主な理由は

- ①南部町でスポーツを核とした地域づくりを目指す団体であること
- ②社会福祉協議会の健康増進部職員の移管を受ける団体であること

**執行部へ意見** 新たに組織されたNPO法人であり、今後の運営などでバックアップのため、町の支援が必要であるとする。施設の維持管理には町が責任を持つべきであり、十分な配慮をされたい。



**公の施設（南部町公民館 さいはく分館）指定管理者の指定** **賛成多数で可決**

「さいはく分館」の管理を引き続き「法勝寺地域振興協議会」に指定管理者に指定されました。

（反対）公民館施設であれば主事などを配置し、町が直接管理すべきである。その体制がとられていない状況について賛成できない

（賛成）選定委員会の意見でも社会教育担当職員の配置が指摘されているので、今後の課題としてほしい。地域の拠点施設として十分に利用されており、法勝寺地域振興協議会が責任を持った管理者として何ら問題がない。

## 子ども・子育て支援新制度

杉谷早苗議員

Q 今後の保育園は

A 認定子ども園へ移行

町長



**杉谷** 町内四保育園の施設整備などの状況の説明を受け、現状ではどのような議論がなされているか。

また、子ども・子育て支援法が成立したことにより、我が町の今後の保育園はどのように変わるか。

**町長** 近年0歳児の入園希望が増えている。また、年度途中の入園希望者は入園できず、十分な保育サービスが行えていない状況だ。このような状況から、0歳から5歳の保育

はもとより、小学校・中学校との連携、地域との交流のできる施設で安心して楽しい子育てをしていただくことを構想している。

子ども・子育て新支援制度における保育園の運営形態は、保護者がフルタイムの就労している保育標準時間認定の子どもと、パートタイム労働している保育短時間認定の子どもに区分をして、保育必要量に応じて施設型給付を行う。

新制度のもと、町立保育園が認定子ども園へ移行することになれば、町内での通園を希望する子どもを受け入れること

が出来るようになる。と考えている。

新制度が従来と大きく変わる点は、全ての子どもについて利用者の希望を把握しつつ教育、保育の必要量を自治体が認定し給付する点であろうと考えている。

新制度の実施時期については国が予定している平成27年4月を予定している。

◎その他の質問  
文化活動拠点施設  
南部町の教育

よう推進したい。事前登録制度は不正取得されても登録者以外は通知されない。特定八業種等の不正取得が明らかになれば、登録者以外の方でも通知される被害者告知制度も検討し、不正取得に対する抑制と個人情報の悪用防止に努めたい。



## 空き家対策

三嶋義文議員

Q 空き家一括借り上げ事業の進捗は

A 事業の継続で危険空き家の防止と人口増

町長



**三嶋** 今年3月、6月、9月の各定例会で一般質問し、町長が答弁されたことや、私が提案したことについて、その後どう取り組まれて来たのか進捗状況を伺い来年度予算に反映されたい。

空き家対策について、所有者で維持管理ができず放置されることのないよう町として対策を講じる必要があると3月議会にて提案したところ、空き家を有効活用するため「空き家一括借り上げ事業」を創設すると答弁されて

いる。空き家の現状と事業の進捗状況を伺う。

**町長** 現在、町が確認している空き家は105戸で、その内利用可能なものが94戸、老朽化し危険なものが14戸と把握している。こうした現状をふまえ、町が10年間物件を借り上げて最低限の修繕を行い、移住希望者に貸し出す「空き家一括借り上げ事業」に取り組んできた。その結果、空き家所有者から借り上げた物件が3件、その内の1件は既に入居されており、あと2件はリフォーム中の空き家



リフォーム中の空き家

1m中と修繕設計中である。そのほか検討中が2件あり、今後さらに事業の進捗を図っていきたい。

◎その他の質問  
国立音楽院の現状  
小規模災害の対応

## 少子化対策

白川立真議員

Q 結婚活動の支援は

A 少子化対策プロジェクト会議を中心に

町長



次世代を支える子どもの減少は、高齢者の増加に対しアンバランスな状態にあり国力や国策に大きな影響を与えるものと考えている。

国は喫緊の課題として対策を講じようとしているが、当町では少子化問題をどのように捉える、どのような策を考えているのか伺う。

**町長** 若い世代の未婚化や晩婚化につながる要因として、結婚に対する個人の考え方や価値観が変化してきたこ



おじいちゃんも子育て支援

とがあると思う。また、社会経済の変化や女性の社会進出が進み女性の経済力が向上したことも一因であると思う。

対策としては、副町長をトップとした少子化対策プロジェクト会議を立ち上げている。

その方針として結婚支援、出産・子育て支援、若者世代の暮らしの支援の三本

## 個人情報保護

石上良夫議員

Q 戸籍、住民票等の取り扱いは

A 被害者告知制度も検討

町長



**石上** 戸籍、住民票等の不正取得で行政書士、司法書士等の逮捕者が後を絶たない。逗子市のストーリーカー事件では個人情報保護の観点から、自治体の意識改革が強く求められている。本町においても平成24年に1件の不正取得が明らかになっており、犯罪防止のために、被害者告知制度等を併用した本人通知制度の改正についても、検討すべきではないか。

逗子ストーリーカー事件、本庁で不正取得された戸籍などの認識については、個人情報の取り扱いに対し全職員が関心を持ち、改めてその認識を再確認することが重要と

考えている。本町は不正取得防止のため平成24年9月より、事前登録制度の運用を開始しており、25年11月末の登録者は西部地区市町村トップとなっている。今後制度の概要など定期的に広報し、一人でも多くの町民の方に登録して頂ける



町民生活課窓口

## 体験型観光

板井隆議員

### Q 新年度に向けた具体的施策は

#### A 実施体制を新たに構築

町長



**板井** 観光振興は地域活性化の起爆剤だ。体験型観光推進事業では自然環境を活用した観光産業の発展と、地域の人材、宝の発掘が期待できる。

また体験を通して地域の魅力を最大限に発揮し、交流人口、定住人口増加へつなげてほしい。この事業をどのように検証し、活かしていくつもりなのか伺う。

**町長** 今年度、新たに取り組みと考える。町外に向けてのプロモーション、体験メニューの受け入れ団体の調整、モニターツアーを作りながら、南部町版観光マップを作成する。今年度は各地域振興協議会に協力いただき、地域内へ体験型観光の魅力を実感していただくよう、事業の働きかけを丁寧に行つた。2年目以降は、企業のPR、コーディネートを実施する主体を



うどん打ち体験

**町長** 今後、この議題をどうするか。このたび公共料金審議会からいただいた答申を、12月議会において審議いただくよう考えていたが、基礎知識としての水道事業の現状や、料金改定の必要性についての説明不足で、審議の前提となる認識が共有できていないことから、議会において審議には至らないと判断し、今後、前回答申の範囲内で今回の答申結果を踏まえ、わずかでも経営改善に資するような執行部案を策定し、公共料金審議会の御意見も聞きながら議会に示す考えだ。同時に、町民の皆様説明会を開催する。◎その他の質問  
**豪雨災害対策**

## 水道料金

植田均議員

### Q 公共の福祉増進が原則

#### A 改めて執行部案を相談する

町長



**植田** 町長は、公共料金審議会の答申を受け、12月議会にいきなり提案する予定だった。11月19日の議会運営委員会でも、拙速な提案、議会軽視など厳しい意見が出され、その日の議会運営委員会は、この議案の取り扱いを保留することが決まった。

11月29日の議会全員協議会でも、公共料金審議会の答申内容や、住民説明会の持ち方などに厳しい意見が出された。公共料金は福祉の増進が原則であり、



水場

## 体験型観光

板井隆議員

### Q 新年度に向けた具体的施策は

#### A 実施体制を新たに構築

町長



**板井** 観光振興は地域活性化の起爆剤だ。体験型観光推進事業では自然環境を活用した観光産業の発展と、地域の人材、宝の発掘が期待できる。

また体験を通して地域の魅力を最大限に発揮し、交流人口、定住人口増加へつなげてほしい。この事業をどのように検証し、活かしていくつもりなのか伺う。

**町長** 今年度、新たに取り組みと考える。町外に向けてのプロモーション、体験メニューの受け入れ団体の調整、モニターツアーを作りながら、南部町版観光マップを作成する。今年度は各地域振興協議会に協力いただき、地域内へ体験型観光の魅力を実感していただくよう、事業の働きかけを丁寧に行つた。2年目以降は、企業のPR、コーディネートを実施する主体を



うどん打ち体験

## 水道料金

植田均議員

### Q 公共の福祉増進が原則

#### A 改めて執行部案を相談する

町長



**植田** 町長は、公共料金審議会の答申を受け、12月議会にいきなり提案する予定だった。11月19日の議会運営委員会でも、拙速な提案、議会軽視など厳しい意見が出され、その日の議会運営委員会は、この議案の取り扱いを保留することが決まった。

11月29日の議会全員協議会でも、公共料金審議会の答申内容や、住民説明会の持ち方などに厳しい意見が出された。公共料金は福祉の増進が原則であり、

**町長** 今後、この議題をどうするか。このたび公共料金審議会からいただいた答申を、12月議会において審議いただくよう考えていたが、基礎知識としての水道事業の現状や、料金改定の必要性についての説明不足で、審議の前提となる認識が共有できていないことから、議会において審議には至らないと判断し、今後、前回答申の範囲内で今回の答申結果を踏まえ、わずかでも経営改善に資するような執行部案を策定し、公共料金審議会の御意見も聞きながら議会に示す考えだ。同時に、町民の皆様説明会を開催する。◎その他の質問  
**豪雨災害対策**



水場

## 期日前投票所

米澤睦議員

### Q 会見地区への設置を求める

#### A 現状で理解を

選挙管理委員会委員長



**米澤** 合併時、一番の問題であった選挙人名簿の照合方法が、紙ベースからコンピューターによるオンライン確認で解決され、二重投票の恐れはなくなった。残る問題の、秩序維持、閉鎖環境から期日前投票所の確保の困難性、投票管理者、投票立会人、事務従事者の確保の苦慮、投票箱、投票用紙の管理については、選挙管理委員会の姿勢の持ち方で解決する。会見地区の期日前投票所の会見

地区への設置について、行政サイドの考へ方ではなく住民サイドに立って問題解決に向けて努力されているか伺う。

**委員長** 合併時、一カ所に決定した主な理由である紙による選挙人名簿の照合方法のための投票用紙の二重交付は防げるものとなった。しかしながら、別の問題として、経費の問題、秩序の保持、物理的に閉鎖できる環境としての場所の問題、人員の問題、安全の問題は簡単に解決できないという考えは変わっていない。

選挙の正確な管理、執行を行う立場にある選挙管理委員会としては、少しでもリスクの少ない確実に迅速な選挙の管理、執行が務めである。現状で理解いただきたい。

## 災害復興

景山浩議員

### Q 現状復旧にとどまらない復興を

#### A 必要性に応じて取り組む

町長



**景山** 本町では平成12年の鳥取西部地震をはじめとして度重なる豪雨災害に見舞われるなど、災害が頻発する状況となっている。

域活力を向上させることにつながるような観点からの災害復興が必要ではないか。

**町長** 災害復興とは大規模な災害を受けたときに被災からの復旧を進めていくにあたり、現状に戻していくのではなく、地域のよりよいあり方を決定しながら新しい町づくりを視野に入れた復旧をしていくという意味合いが強いものだと思う。実質的には現有資産の保全などの権利的なものが絡み合ってくることから、現状復旧が主体となっている。しかし、全ての災害において現状復旧を目指すのは、決して進む方向であるとは言えない。復興という視点で、より安全で機能的にも高い生活基盤を作るように対応していく必要がある。

今年7月の驛牛地内の寺谷川の河川災害書においては一定災という事で被災力所以外も含めた基盤改良ができることとなった。現状復旧にこだわり被災力が再度壊れるようなことがないよう積極的に対応していきたい。

## 一般質問

合併時、一番の問題であった選挙人名簿の照合方法が、紙ベースからコンピューターによるオンライン確認で解決され、二重投票の恐れはなくなった。残る問題の、秩序維持、閉鎖環境から期日前投票所の確保の困難性、投票管理者、投票立会人、事務従事者の確保の苦慮、投票箱、投票用紙の管理については、選挙管理委員会の姿勢の持ち方で解決する。会見地区の期日前投票所の会見



物理的に閉鎖できる環境としての場所の問題、人員の問題、安全の問題は簡単に解決できないという考えは変わっていない。

選挙の正確な管理、執行を行う立場にある選挙管理委員会としては、少しでもリスクの少ない確実に迅速な選挙の管理、執行が務めである。現状で理解いただきたい。



農業施策

秦伊知郎議員

Q 減反廃止の影響は

A 効率性を重点にした指導を

町長



秦 政府が主導して行ってきた

生産調整（減反）だが、5年後の2018年度をめどに廃止されることになった。廃止が実現すれば半世紀ぶりに日本の農政は大転換することになる。

町は、農業を町の基幹産業と位置づけて、多様な支援を行っている。

減反廃止の決定は兼業農家の多い我が町に大きな影響があると考ええる。

今後、どのような対策を考え、産業としての農業を守って

いくのか伺いたい。いききたいと考えている。

町長 米の直接支

反）が10アール当り1万5000円から7500円に減額される。その反面、飼料米は最大で10万5000円まで引き上げられ、転作補助金が強化される。加工用米についても単価の見直しがなされる。

◎その他の質問  
道州制

現状では農家にとつて非常に厳しい状況が予想されると考える。

個別農家の方々に対し効率性を重点とした選択肢を考へてもらえる提言をして



学校給食

亀尾共三議員

Q 無料化を求める

A 無料化は考えていない

教育長



亀尾 町民の多くは所得が減り

諸物価は上がることで家計が厳しくなっている。まして子育て世代は深刻な問題だ。

町長は子育て支援に力を注ぐことを明言した。法的にも学校給食費の無料化実施は自治体の裁量で可能と考える。

①現在の小中学生の年間負担総額はいくらか。

②委託会社の取り分はいくらか。

③子育て支援の重要性を考えれば無料化の実施は当然と思うがどうか。

①保護者の育法で定められており給食の原料に係る経費は受益者負担とし学校給食を無料にすることは考えていない。

教育長 負担は一人当たり年間小学生で4万5800円、中学生で5万1400円、全町保護者の年間負担総額は、4330万円である。

②給食調理業務の委託は平成19年後より実施して

いる。受託者の利益はプロポーザルの時の試算表で示された事業所営業利益を除いては把握していない。

◎その他の質問  
集落要望  
米の生産調整



さいはく分館建てかえ

真壁容子議員

Q 「複合施設ありき」では

A 複合的な学びの中核施設を

町長



真壁 先の議会委員会で、町公民館さいはく分館の建て替えをめぐり、周辺一帯の施設を統合して複合施設建設の計画策定を進めていることが明らかに

なりました。議会もそれを前提に視察の計画を立てている。住氏サービスの向上、福祉の増進に向けて、住民が利用する施設の整備は町の仕事であり重要な課題だが「先に複合施設ありき」の感が否めない。町内にはこれまでも施設建設に多額の費用を使っ

きた町の在り方に疑問の声も多い。現時点での取り組みを住民に明らかにすることを求める。

町長 建て替え対象は町公民館さいはく分館だ。昭和48年建設で老朽化はもとより雨漏り対策に苦心している現状だ。複合施設にする理由は、法勝寺図書館（平成元年建設）が利用者のニーズに十分こたえきれない現状だ。また、児童館的機能を持たせることも必要ではないかと考えている。社会教育と町

◎その他の質問  
地域振興区制度



さいはく分館

保育園

細田元教議員

Q 改築を求める

A 「すみれ保育園」を建てかえたい

町長



細田 本町にある小学校、中学校ともに国の耐震対策事業で新築同様になった。残るのは保育園だけだ。過去にも質問したが財源の問題で今日まできて

いる。今回、国は消費税を財源として少子化対策に予算を充てる計画だ。これを契機に保育園の改築を求める。

町長 最も古い保育園はすみれ保育園で築37年経過しており、最も新しい保育園がつくし保育園で築23年経過し

ている。これまで必要に応じて回収・修繕を行い、子育てのニーズに答えてきた。低年齢児保育のニーズが高まっている状況には満足に対応できていない現状だ。最も老朽化し、0歳児保育をしていない「すみれ保育園」を建て替え未満児の定員をふやし、一時保



老朽化が進む、すみれ保育園

# 二十歳のこえ

## 南部町成人式会場にて



もっと働ける場がほしい。(女性)

都会と比べて時間がゆったりしているようで、南部町がいい。でも将来はマスコミ関係の仕事がしたいので、こっちに帰らないと思う。(女性)

もっと交通の便があったら…今学生だけと米子に住んでいます。バス代が高い。(女性)

食べ物や、自然が豊か、外でくらしがここの良さがわかった。ずっと変わらないでほしい。(男性)

子どもが少ないじゃないですか。もっと子育てしやすい町になったらいいですね。(男性)



### お父さん、お母さんから一言

ついこのあいだまで、小さな子どもだと思っていたのに、あっという間に成人式を迎えて…。この子たちの将来に明るい未来が開けることをただただ願っています。

11月		会議・行事	
2	土	法勝寺中学・南部中学文化祭	
3	日	南部町・伯耆町に町交流ランドゴルフ大会	
		法勝寺中学文化祭	
7	木	江府町町制60周年記念式典	
8	金	鳥取県町村監査委員協議会第2回研修会	
9	土	会見小・会見第二小学習発表会	
10	日	第27回富有の里親善ゲートボール大会	
11	月	南部町観光振興講演会	
12	火	農業委員会会長との面談会	
		本県選出国會議員諸先生方との懇談会	
13	水	第57回町村議会議長全国大会…15日まで	
16	土	西伯小芸術の秋発表会	
18	月	JIAM市町村議會議員特別セミナー…19日まで	
		議会運営委員会	
19	火	東村山行政調査受け入れ	
20	水	千代田行政調査受け入れ	
21	木	例月検査	
23	土	赤沢衆議院議員・舞立参議院議員合同国会報告会	
25	月	鳥取県町村議會議員研修会	
26	火	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会定例会	

12月		会議・行事	
1	日	法勝寺中学校同窓会関西支部総会並びに関西西南部会	
6	金	12月定例議会初日	
8	日	西伯文化会館解放まつり	
9	月	12月定例議会・町政に対する一般質問	
10	火	12月定例議会・町政に対する一般質問	
12	水	12月定例議会・予算決算常任委員会	
16	月	町内企業訪問	
17	火	12月定例議会	
18	水	12月定例議会	
20	金	例月検査	
21	土	「多文化交流会」スピーチ発表会	
		全員協議会	
26	木	西部広域行政管理組合決算審査特別委員会	
		西部町村議会議長会	

1月		会議・行事	
7	火	広報委員会	
		町政要望会	
8	水	鳥取県議会事務協議会役員会	
10	金	予算決算常任委員会	
12	日	消防出初式	
		南部町成人式	
14	火	広報委員会	
		農業委員会新年会	
15	水	議会行政調査	
16	木	議会行政調査	
17	金	議会行政調査	
20	月	広報委員会	
22	水	西部広域ごみ処理施設等調査特別委員会	
		全員協議会	
23	木	臨時議会	
27	月	西部広域行政管理組合臨時会	
28	火	南部箕蚊屋広域連合運営委員会	
31	金	議会・地域振興協議会合同研修会	

## 1月15日から17日(2泊3日)山口県下関市、大分県日田市へ行政調査に出かけてきましたので、報告します。



公民館、図書館、ホール機能が連携し、市民の利用目的に合った運営が出来るのが複合施設のメリットのことであつた。

現在、南部町も複合施設の計画が検討されているが、議会人としてこの度の経験を生かしたいと思う。

人口28万人の下関市では中央公民館の老朽化に伴い、平成22年3月に完成した生涯学習プラザ・市立中央図書館及び大ホールなどを備えた複合施設として市民文化の新しい交流拠点を視察した。この施設は下関市により公設民営方式として管理指定された、(株)ドリームシップが設計・建設・維持管理・運営の全てを担当する。民間の資金力・技術力・ノウハウを活かし、利用者に公共サービスを提供していた。

生涯学習プラザでは「自然と人の交流」を理念とし、貸施設を有効的に市民に利用していただく方策や自主事業を頻繁に行いながら、賑わいの施設で市民活性化に努力されている現状を実感することが出来た。

中央図書館は開館日数や時間を増やすことで、利便性を追求しながら、設備においても、読書通帳の発行や、自動貸出機、予約ロッカーの設置など様々な創意工夫が駆使されていた。

### DREAMSHIP 山口県下関市

## 《行政調査報告》

### 行政調査特別委員会



人口7万人の九州三大美林のひとつ日田杉で有名な日田市が、平成11年に造成した日田ウッドコンビナートの誘致企業として、(株)日田ウッドパワ―が木質バイオマス発電所を建設した。

「自然のちからを燃料に」燃料は地元で出た林地残材や製材端材を使った木質チップを使用、電気エネルギーを生み出していた。

発電出力12,000kw(1万世帯分)の電気を生み出し、地域の林業振興、再生にも大きく寄与している企業であつた。

南部町においても森林の保全と振興は重要な課題であり、木質を生かした自然エネルギーへの転換も、新しい産業になりえると確信した。

### 日田ウッドパワー 大分県日田市

# なつかしの 我が校舎

## 古川由美子さん 談

小学校を卒業して半世紀がたち、思い出はだんだんと遠のく様に感じていますが、校門横の大きなため池、前庭の銀杏の木、体育館横の大きな桜の木等の風景は、時々鮮明に思い出す事があります。

今の子供達の様子、物が豊富にある時代ではなかったもので、自然の中で皆んなと仲良く遊んだものでした。夕方暗くなるまで、グラウンドで遊び、祖母がよく迎えに来てくれた事を思い出します。

5、6年の時の担任の藤田先生には、時々お会いする事があります。先生のお元氣な姿を拝見するたびに、私も元氣で頑張らなくてはと思います。

還暦を過ぎて、思い出は薄れて来ていますが、この地に生まれ、法勝寺小学校で学び、良き恩師、良き友と出会えた事は、私の一生の宝物です。



旧法勝寺小学校

## 表紙写真



しあわせ体操教室

## 『Spone tなんぶ』が 『しあわせ』の指定管理者に！

『Spone tなんぶ』って？

正式名称は南部町総合型スポーツクラブ。生涯スポーツを核とした地域づくりを目指す目的で昨年11月に設立されたNPO団体です。

卓球やバドミントン、ソフトボールにダンス、ヨーガ等々、ジュニアからシニアまで自ら好きなスポーツを楽しんで体力の維持増進や健康管理を図ることを支援します。

「心身ともに健やかに」は私たち全ての願いです。皆様も「Spone tなんぶ」でスポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。

## あとがき



◆皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は当「なんぶ議会だより」をご覧いただきありがとうございましたこと、また発行に際しご理解、ご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

昨年は七月に思わぬゲリラ豪雨による水害に見舞われるなど、我が町も防災の観点からはまだまだ備えが十分とは言えないという現実を思い知らされた年でした。

また、都会ではアベノミクスの効果が言われるのに反して、地方ではその実感は無く、反対にTPOP交渉のスタートなどで地域の生活基盤が根底から覆ってしまうのではないかと危惧する声も多聞かれます。

南部町は今年合併十周年を迎えます。町民の皆様様の生活を守り町の発展を期すために、議会に求められる責任もますます大きくなっているものと考えます。

新たな年が皆様にとってまた南部町にとって実に多く穏やかな年となります。ようお祈りいたします。